

情報機器を活用し、自ら進んで学習する児童生徒の育成

福島県檜枝岐村立檜枝岐小中学校

全校児童生徒数	小33名(男20、女13)中23名(男11、女12)		
全クラス数	4・3	教職員数	9・12名(内体育専科1名)
クラブ活動または運動部活動	1	参加延べ人数	23人
地域の外部指導者の活用(年間延べ人数)			9・9人

取組時の課題と目的

Plan

1 取組時の課題

本校の児童生徒の特徴として、体を動かすことが好きな子供が多い反面、苦手と感じた種目には消極的になってしまう子供も見られる。また、小学校入学以前からの互いを知り尽くした人間関係から、特に「自分は運動が苦手である」という児童生徒は、他と競い合いながら自己を高めようとするモチベーションが低く、さらに高める場面も少ないというのが現状である。

2 取組の目的

- ICTを活用して、自己の運動技能に応じた課題を設定し、解決していく能力と自らの運動技能や体力向上への意識を高めることにより、部活動や今後の生涯スポーツに生かせるようにする。
- ICTを活用した授業を行い、自他の優れている点や改善点等について、助言し合う場を設定し、コミュニケーション能力の育成を図る。

取組の内容

D

1 体育（保健体育）授業でのICTの活用

(1) 中学校

本校の児童生徒一人一人には情報通信企業のプロジェクトにより、タブレットが貸与されている。そこで、保健体育の授業では、タブレット等のICT機器を活用し、自己の演技の確認はもちろん、技能を向上させるための話し合い活動を充実させること等のコミュニケーション能力の育成を図る場の設定、個人の体力増進の手助けとなるような取組を行っている。

(2) 小学校

中学校同様、児童一人一人にタブレットが貸与されている。体育の授業では、カメラ機能で互いの演技を撮影し、何度も繰り返し見て、どうすればよりよい演技ができるかを考えたり、指摘し合ったりする場を設定し、客観的に自分の演技をとらえることができるような取組を行っている。

2 部活動等でのICTの活用

(1) 中学校

本校には、常設の部活動としてバドミントン部がある。小規模校の特性を生かし、運動技能の向上や課題の把握・解決のために、授業だけでなく部活動でもタブレットを使い、フォームやフットワークのチェックや改善、ゲームでの動きの確認等を行い、活用している。実際に自分で具体的な課題を確認でき、技能の向上につながっている。

工夫したこと

- タブレットを使い、自分の演技を確認し、上級者の演技と比較することで、課題解決の手助けとなるようにした。また、互いに助言し合う場を設定しコミュニケーション能力の育成を図るようにした。
- 定期的に新体力テストを行い、(全体的に劣っている項目を抜粋)表計算ソフトを使い、記録をパソコンの共有フォルダに保存しておき、個人の体力の推移を確認できるようにした。
- 部活動で、タブレットをフォームや動きのチェック等に活用した。チェックした動画は、消去せずに日付が分かるように保存し、いつでもフィードバックできるようにした。
- 動画を確認する際に、いくつかの視点を明示し、自分の演技の変化を明確にとらえさせることにより、自己の成長を実感できるようにした。

取組の成果

Check

- タブレットを使った授業では、自己の課題を明確に把握できるようになるとともに、課題の解決に向けた話し合い活動が充実できた。
- 自己の運動能力への関心が高まり、部活動中や家庭で自主トレーニングをする姿が見られるようになった。
- 自分の演技を実際に見ていることから、教員や友達の助言に納得しながら効率的に練習を行うことができ、技能の向上が図れた。また「もっと上達したい」という思いから、意欲的に学習に取り組むことができるようになった。

今後の課題

Action

- タブレットを日常的にもっと有効に活用する授業法の工夫・改善が必要である。
- 体育科に限らず、他教科においても、積極的にICTの活用を図り、児童生徒にとって身近な学習環境として定着させていくことが必要である。

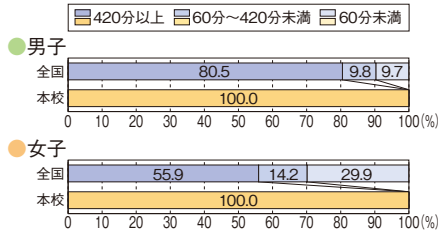
●使用機材

- ・タブレット (7インチ)：情報通信企業から貸与
- ・タブレット型PC (11.6インチ)：村の予算から購入

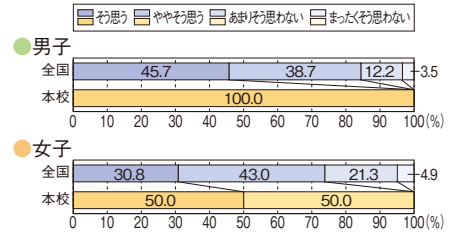
●体力合計点と運動時間

	中学校	
	男子	女子
体力合計点(点)	48.5	62.5
A	0.0	100.0
B	75.0	0.0
D	0.0	0.0
E	0.0	0.0
AB-DE	75.0	100.0
1週間の総運動時間(分)	1208.8	1155.0
60分未満の割合(%)	0.0	0.0

●1週間の総運動時間の分布(中学校)



●【質問15】保健体育の授業は楽しい(中学校)



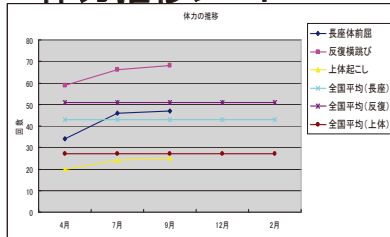
中学校の取組

授業での活用



自己に応じた課題を解決する能力の育成。

体力推移シート



自己の体力の把握

部活動での活用



- フォーム等のチェックを行う。
- ダブルスの動きの確認。
- 保存していつでも確認できる。

- 技能の向上
- 意識の向上

運動に親しむ習慣
生涯スポーツ

小学校の取組

授業での活用

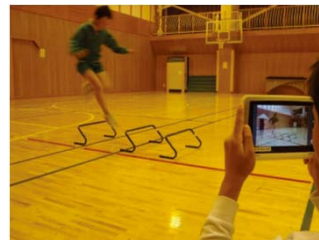


自分の演技を客観的にとらえる。

陸上大会指導での活用



学び合いの場の設定



- どうすればよりよい演技ができるか (判断力の育成)
- 互いに伝え合う (表現力の育成)
- もっと上達したい (意欲の向上)

意欲的に学習に取り組む
子供の育成